

Q ■ 金融市場で注目されている「出口戦略」とは何ですか？

A ■ 2008年の経済・金融の大混乱による景気低迷への対応策として、主要国が打ち出した財政・金融緩和政策を正常化する方法です。

2008年9月に米国で発生したリーマン・ショックの後、世界規模で金融危機が拡大し、世界経済は深刻な景気低迷に陥りました。各国政府は、混乱の收拾や景気低迷への対応策として大規模な財政出動を行い、中央銀行は日米欧を中心に、積極的な利下げ、量的緩和などの金融緩和策に踏み切りました。

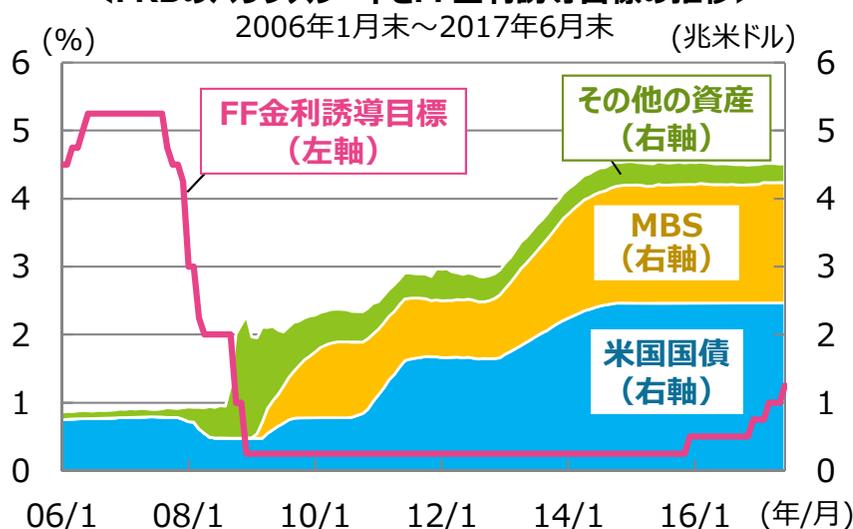
各国の財政・金融緩和政策が奏功し、**世界経済に好転がみられる中、いつまでも非常時の政策を続けているわけにはいきません**。「成長軌道を維持したまま、政策をどう平時に戻すのか（出口戦略）」が注目されています。

主要国の中でいち早く、金融政策の「出口戦略」を進めたのが米国です。FRB（米連邦準備制度理事会）は緩やかな景気回復を背景に、2015年12月には、約9年半ぶりに政策金利の引上げを行い、2017年6月未まで、計3回の利上げを実施しました。ただし、これまでの量的緩和によって国債やモーゲージ証券（MBS）を購入してきたため**FRBの資産規模は、約4.5兆米ドル（2017年6月末）**まで膨らんでいます。今後はこのバランスシートの縮小（償還金の再投資の減額または停止）が開始される予定です。

なお、足元では、ユーロ圏や英国、カナダなどの中央銀行総裁が、早期の金融緩和縮小に前向きな発言をしており、米国以外の「出口戦略」についても、注目が集まるものとみられます。

今後、FRBのバランスシートの縮小（償還金の再投資の減額または停止）が開始される予定

＜FRBのバランスシートとFF金利誘導目標の推移＞



FRBは2014年10月に債券の新規購入をやめましたが、保有する債券が満期になると償還金と同額だけ債券を購入（再投資）しているため、資産規模は維持されてきました。

今後は、約4.5兆米ドルに膨らんでいるバランスシートを、**2021-22年に2.5～3.0兆米ドルに縮小させる方針**とみられます。

(注) FF金利誘導目標は、レンジの上限を表示。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。